

第24回水俣・芦北地域雇用創造協議会 総会

資料

報 告 事 項

報告第1号

令和2年度(2020年度)事業報告

令和2年度(2020年度)事業報告

1 総 括

「第六次水俣・芦北地域振興計画」の基本理念である「環境と経済の好循環を実現し、「地域の活力と新しい豊かさ」を生み出す地域社会づくり」の実現に向けて、計画の第一目標に掲げる「高い付加価値を生む産業づくり」を推進するため、県、市町及び経済団体等の創意工夫による地域経済の活性化や雇用機会の創出効果を高める事業を実施した。

令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式や消費行動の変化等の状況を見極めながら、環境配慮型農業の推進、和紅茶、マガキ、林産材等のブランド力の強化を図るとともに、地域産品等の展示商談会への出展や老舗レストランへの食材提案・提供などにより商談機会の創出・販路拡大を行った。

また、令和2年7月豪雨災害により被災した事業者の当面の収益確保や地域産業一体となった賑わい創出など、地域産業全体の再興に向けた取組みを行った。

2 事 業 報 告

※ ★の取組みは、カラー資料に詳細を記載。

(1) 環境配慮型農業推進事業

農薬や肥料に頼らない環境配慮型の農業を地域全体で実践するため、生産者向けの栽培技術講習会を開催するとともに、当地域に点在する狭小農地でも持続可能な環境配慮型農産物の実証栽培と販路開拓を併せて行うことで、環境首都にふさわしい食と農の地域ブランドの推進を図った。

[具体的な取組み]

★環境配慮型農産物実証栽培の推進

- ・アボカド栽培技術専門家(ヨネトロピックス代表 米本仁巳 氏)による訪問技術指導(4月～3月、12回)
- ・アボカドの実証栽培及び苗木生産・販売システムの構築(4月～3月)
- ・環境配慮型農業実践塾(株)グリーングラス代表 道法正徳 氏)の開催
(4月～3月、12回)
- ・瀬戸石ダム底泥を活用した新たな環境配慮型農業の検証(4月～3月)

○中山間地域における狭小農地営農モデルの確立

- ・狭小農地を活用した営農モデルを確立するための環境配慮型の高付加価値農産物(紅心大根、葉つきかぶ等)の実証栽培・販路開拓(5月～3月)
- ・中山間地域農家等の高齢化に伴う出荷先までの移動手段の課題解決に向けた集荷から出荷(タケノコ)までの体制構築(4月・3月)

(2) 異業種間連携・販路開拓支援事業

食や健康の分野において、当地域の優れた地域資源の持つ成分、加工技術、保存技術、地域の伝統文化を活用して、農商工連携・六次産業化による付加価値の高い商品開発を行うとともに、パッケージデザインや販売戦略の検討、新たな販路の開拓を行うなど、新産業の創出を図った。

[具体的な取組み]

★地域産品を活用した新商品開発

- ・みずたまごを使用した水俣のお土産品（水俣市）
- ・みずたまご一般小売用パッケージ開発（水俣市）
- ・ミナマタギフトプロジェクト（水俣市）
- ・パインみかんのシロップ漬け（芦北町）
- ・甘夏ハニーマスター（芦北町）
- ・あしきた牛を使ったカレーやソース等の冷凍ミールキット（芦北町）
- ・芦北産の蜂蜜等を使ったシロップ、告茶を使用したクッキー（芦北町）
- ・津奈木産米を100%使用したお酒とつなぎオリジナルセット（津奈木町）
- ・不知火海で獲れた鱧の鍋セット（津奈木町）

★展示商談会・都市圏物産展出展

- ・FABEX 関西 2020（10月28～30日、大阪市）
(株)Mr.Orange（水俣市）
- ・Food Style 2020（11月11～12日、福岡市）
(株)Mr.Orange（水俣市）、漁師ばい平国丸（津奈木町）
- ・新梅田食道街を活用した水俣・芦北フェア（11月22～24日、大阪市）
高田蒲鉾（芦北町）

★地域産品のブランディング・販路開拓

- ・(株)食文化 取締役井上真一 氏による「コロナ時代も乗り越える！WEB通販成功者の商品戦略」講演会（11月13日）
- ・大手ECサイトにおけるテストマーケティング（4月～3月）
(Mr.Orange グレープフルーツ・不知火、田中果樹園 パインみかん、吉野農園 スイートスプリング、南興ファーム アボカド、漁師ばい平国丸 茶漬け、お茶のカジハラ 和紅茶）
- ・有名シェフ監修の「塩」商品化（4月～3月）
- ・老舗レストラン、駅ビルレストラン街への食材の提案・提供
なだ万レストラン、なだ万厨房（11月）
JR博多シティ「くうてん」（2月1～14日）
- ・地域情報誌、雑誌での地域産品の情報発信（4月～3月）

★和紅茶ブランディング

- ・紅茶関連の講師（徳田志保 氏）による製造実習及び拝見の実施（6月～9月）
- ・茶葉の香気分析を活用した商品シートの作成（5月～3月）
- ・ティーソムリエの資格取得による和紅茶ブランディング強化（4月～3月）

（3）水産物ブランド化支援事業

水産物のブランド化、マガキの養殖・販路拡大を実施し、地域資源の新たな特産化を図った。

[具体的な取組み]

○水産資源ブランディング

- ・アドバイザー（道の駅萩しまーと初代駅長 中澤さかな氏）による地域海産物のブランディング（えび庵、道の駅たのうら）（8月、1回）

★マガキ養殖・販路拡大

- ・マガキ養殖・カキ小屋整備（11月～3月）
- ・情報発信・販路拡大（11月～3月）

（4）水俣・芦北観光応援社事業

地域資源を生かした着地型旅行商品を充実させるため、素材の発掘、旅行商品化や情報発信を効果的に行い、交流人口を最大化させることを目的に「水俣・芦北観光応援社」として活動を実施。コロナ禍においても実施できるオンラインツアーや情報発信を重点的に行った。

【具体的な取組み】

★オンラインツアー

- (第1回) 伝統製法に拘った無農薬黒糖作り＆四天王紅茶ブレンドティ体験！
(12月12日)

- (第2回) 水俣芦北に伝わる漁師飯「えびめし」を食べよう！(1月16日)

- (第3回) 豊かな茶畠の中でTeaTerrace!

～みなまた和紅茶四天王直伝の茶揉み体験！～(2月27日)

★新幹線で来訪する観光客をターゲットとした旅行商品化

新八代駅を発着点として水俣・芦北地域の生産者等を巡るバスツアー

- ・LOVE FM DJ Sakikoと行く！1泊2日スペシャルツアー(3月13～14日)
- ・CROSS FM 鶴田弥生と行く！熊本水俣・芦北日帰りバスツアー(3月27日)

★地域情報誌等を活用した情報発信

- ・「放課後ていぼう日誌」コラボ企画「水俣・芦北エリアレジャー」特集
(くまにちすぱいす・10月9日号)
- ・くまもとの外遊び(くまにちすぱいす別冊)
- ・「江口寿史さんが描いた水俣」(水俣市発行に協力)

（5）地元林産材活用推進事業

林家や製材所等の所得向上を目的に、地元林産材を利用した雑貨等の商品化や地元林産材のPRを行った。

【具体的な取組み】

★地元林産材の高付加価値化

- ・水俣・芦北地域木材輸出等促進協議会(通称：木魅会)(H30(2018)年4月発足)を核とした地元林産材の高付加価値化・PR
- 芦北町総合コミュニティセンター 木のおもちゃ等サンプル製作(7月)
- 木のおもちゃカタログ製作(3月)
- 一級技能士取得に向けた講習の実施(10月～1月)

○令和2年7月豪雨災害被災者向け「住まい相談会」における地元林産材PR

- ・芦北地域の住宅関連団体で構成される芦北災害復興住宅支援協議会(仮)で行った「住まい相談会」において地元林産材活用のPRを実施(2月)

(6) 人材育成事業

地域内外の関係者と連携した創意工夫により、人材育成、就職支援等を行い、雇用創出を図った。

[具体的な取組み]

○求職者向けスキルアップセミナー

- ・技能後継者育成研修受講料の一部助成（4月～3月）
玉掛け技能講習（8名）、小型移動式クレーン運転技能講習（8名）、
フォークリフト運転技能講習（16名）、高所作業車運転技能講習（3名）
- ・福祉医療関係職員研修受講料の一部助成（4月～3月）
介護職員初任者研修（3名）、介護福祉士実務者研修（12名）、
医療事務講座（3名）、メディカルドクターズクラーク（1名）

★高校生の就職支援

- ・就職模擬面接会の実施（9月24～29日）
水俣高校3年生の就職希望者68名参加（公務員希望者除く）
- ・地元企業見学会の実施
水俣高校2年生47名参加（7社）（12月21日）
- ・しごと発見塾
パンフレット制作、水俣高校、芦北高校、芦北支援学校に配布
(地元企業等56事業所掲載)

★ガストロノミーマネジメントの推進

- ・県外大学等と連携した出前授業の実施及びフィールドワーク受入れ等
(立命館大学食マネジメント学部)
- ・地元生産者等のオンラインによる講義（3件）（6月12日、3月1日）

○事務局経費

- ・会計年度任用職員人件費、事務局運営費

(7) 被災地域産業再興支援事業

新型コロナウイルス感染症による影響に加え、令和2年7月豪雨により被災した芦北・水俣地域においては、「地域産業」、「まち」そのものが失われかねない危機に直面していることから、当面の収益確保や地域産業一体となった賑わい創出など、地域産業全体の再興を総合的に後押しした。

[具体的な取組み]

<生産者・加工業者支援>

★新たな商品・販売方法の開発

- ・しらす、えびを使ったオイル漬け（芦北町）
- ・新しい味の柑橘ピール（芦北町）
- ・みなまた和紅茶試飲サンプル用ティーバッグ（芦北町）
- ・ばらん家のおやつシリーズ（芦北町）

★ECサイトを活用した地域産品の販路拡大

- ・地域産品全般を取り扱うECサイト「あっと！アシキタ」において、全国送料無料で発送するキャンペーンを実施。被災事業者の商品を中心に取り扱い、被災事業者の収入確保を図った。（10月～2月）

★熊本都市圏に向けた地域産品の販売促進

- ・サクラマチクマモトくまモンビレッジ「水俣・芦北マルシェ」で被災事業者の商品等を委託販売（11月～1月）
- ・道の駅すいかの里植木「水俣・芦北フェア」で被災事業者の商品等を対面販売（2月27～28日）

<物産館・道の駅支援>

★水俣・芦北地域の復興に向けた情報発信

- ・くまにちすぱいす、リビング熊本、やつしろぶれす等、熊本都市圏や隣接する八代地域に、水俣・芦北の物産館・道の駅によるおすすめ特産品情報などを毎月定期的に発信（10月～3月）

★物産館を活用した地域産品送料無料キャンペーン

- ・道の駅・物産館（5店舗）で地域産品の送料無料キャンペーン実施
（（第1弾）11月14日～12月14日、（第2弾）1月23日～2月23日）

<飲食店支援>

★「芦北伽哩街道」参加店舗による新商品開発

- ・「芦北伽哩街道」参加6店舗のカレーを冷凍カレーとして商品化（2月）

★「放課後ていぼう日誌」に関連した新メニュー開発

- ・芦北町が物語の舞台と言われる漫画・アニメ「放課後ていぼう日誌」に登場するメニューや地域の特産である地魚を使ったメニューを「放課後ていぼう日誌コラボメニュー」として、19店舗でメニュー開発・提供開始（12月～）

<旅館業支援>

★移動販売等による地域食材の特產品化

- ・当地域の特産品である太刀魚の加工品開発・テスト販売

(8) その他（企業誘致）

高齢化が進んでいる当地域において、雇用創出と新しい人の流れを創ることを目的に、当地域でも立地可能性が高いIT企業・サテライトオフィスの誘致活動を行った。

[具体的な取組み]

○(株)MARUKUと連携したIT企業・サテライトオフィス誘致

- ・(株)MARUKUとの包括連携協定(H30(2018)年6月)に基づき、アドバイザーとしてIT企業誘致活動の実施
- ・IT企業3社が芦北サテライトオフィス計石に進出、芦北町と立地協定を締結
 - (株)Syunworld Web (東京都) (11月13日)
 - (株)F.PRODUCERS (東京都) (3月16日)
 - (株)ナトーコンピュータ (熊本市) (3月26日)

3 今後の展開

第七次水俣・芦北地域振興計画に掲げる「地域産業の更なる振興」を推進するため、引き続き、環境配慮型農業の推進、和紅茶、マガキ、林産材をはじめとする地域産品のブランド力の強化、観光素材の磨き上げを図り、各種展示商談会への出展等により商談機会の創出・販路拡大を行う。

水保・芦北地域雇用創造協議議會

令和2年度(2020年度)事業報告

令和2年度(2020年度)事業報告

1 環境配慮型農業推進事業

農薬や肥料に頼らない環境配慮型の農業を地域全体で実践し、環境首都にふさわしい食と農の地域ブランド化を推進

2 異業種間連携・販路開拓支援事業

農商工連携・六次産業化による付加価値の高い商品を開発し、新たな販路を開拓

3 水産物ブランド化支援事業

マガキの養殖・販路拡大を実施し、水産物のブランド化を推進

4 水俣・芦北観光応援事業

地域資源を活用した着地型旅行商品を開発し、効果的な情報を発信

5 地元林産材活用推進事業

地元林産材を活用した雑貨等を商品化し、新たな販路を開拓

6 人材育成事業

工業・福祉医療分野等における人材育成、就職促進を図るため、各種資格取得に係る受講や高校生の就職活動を支援

7 被災地域産業再興支援事業

令和2年7月豪雨により被災した事業者の当面の収入確保や地域産業一体となつた賑わい創出など、地域産業全体の再興を支援

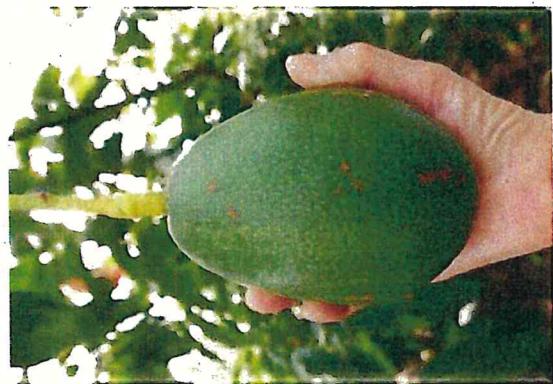
1 環境配慮型農業推進事業

☆環境配慮型農産物実証栽培の推進

アボカドの実証栽培の実施

平成24年度（2012年度）から建設業協会芦北支部農業参入実証部会（以下「実証部会」）において、アボカドの栽培を実施し、実証部会各社の農業参入、雇用維持・拡大を創出する実証事業を開始。水俣・芦北地域のアボカドの产地化に向けた取り組みを実施。

- 熱帯果樹栽培専門家による訪問指導
- アボカド苗木生産に対する苗木育成
- アボカドの販路開拓



ペーパン



ピンカートン

水俣産
津奈木産

130個出荷
44個出荷

2 異業種間連携・販路開拓支援事業

☆ 地域産品を活用した新商品開発

地域産品を活用した新商品開発（9件）

- みずたまごを使用した水俣のお土産品（水俣市）
- みずたままごー一般小売用パッケージ開発（水俣市）
- ミナマタギフトプロジェクト（水俣市）
- パイントみかんのシロップ漬け（芦北町）
- 甘夏ハニーマースタード（芦北町）
- あしきた牛を使ったカレー ソース等の冷凍ミールキット（芦北町）
- 芦北産の蜂蜜、レモン、しょうがを使ったシロップ、
- 告茶を使用したクッキー（芦北町）
- 津奈木産米を100%使用したお酒とつなぎオリジナルセット（津奈木町）
- 不知火海で獲れた鱧の鍋セット（津奈木町）

みずたまごを使用した 水俣のお土産品

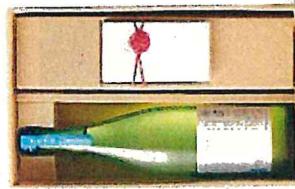
Jwel Rose



鱧の鍋セット



津奈木産米100%のお酒と オリジナルセット



甘夏ハニーマスター



2 異業種間連携・販路開拓支援事業

☆ 展示会・都市圏物産展への出展

(国内) FABEX関西2020

中食・外食から小売まで専門バイヤーが一堂に集結する関西最大の業務用“食”の展示会へ出展。関西圏の展示会へは昨年度に続き2回目。

(入場者数24,023名)

会期：10月28～30日
場所：インテックス大阪（大阪市）
出展者（1社）Mr.Orange（水俣市）



(国内) Food Style 福岡 2020

全国のスーパー・マーケットを中心とした小売業をはじめ、卸・商社、中食、外食、海外等から多數のバイヤーが訪れる日本最大級の商談展示会へ出展。

(入場者数14,866名)

会期：11月11～12日
場所：マリンメッセ福岡（福岡市）
出展者（2社）Mr.Orange（水俣市）
漁師ばしい平国丸（津奈木町）



2 異業種間連携・販路開拓支援事業

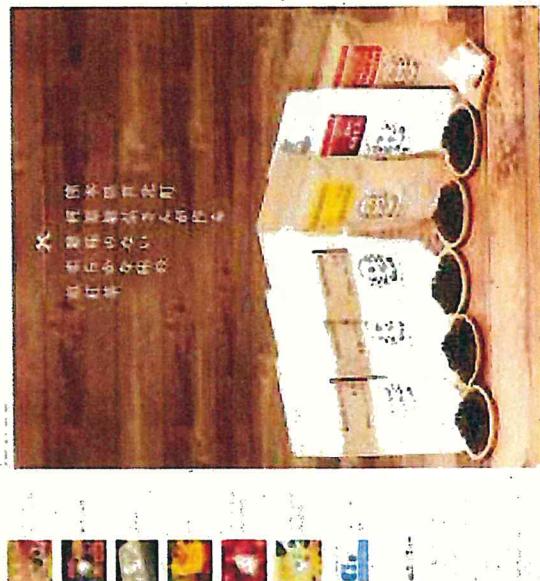
☆ 地域産品のブランディング・販路開拓

地域産品のブランディング・販路開拓

地域産品について、生産者のストーリー、生産者の思いを消費者に伝わりやすく整理した商品紹介ページ作成し、大手ECサイトによるテストマーケティングを実施。

- お茶のカジハラ（芦北町）「和紅茶」
- 漁師ばい平国丸（津奈木町）「冷凍出汁茶漬けセット(太刀魚、真鯛、旬の魚)」

The screenshot shows a product page for "Toyosu Ichiba". At the top, there's a logo with the text "豊洲 トヨソウ イチバ" and a QR code. Below the logo, there are several small icons representing different products or categories. The main product image is a bowl of "冷凍出汁茶漬け" (Frozen Cold Tea Simmered Fish), which looks like a layered dish with fish and vegetables in a reddish-brown sauce. To the left of the image is a detailed product description in Japanese, including the name, price (1,980 yen), and a short blurb about the product. Below the description are several small thumbnail images showing different products or packaging options.



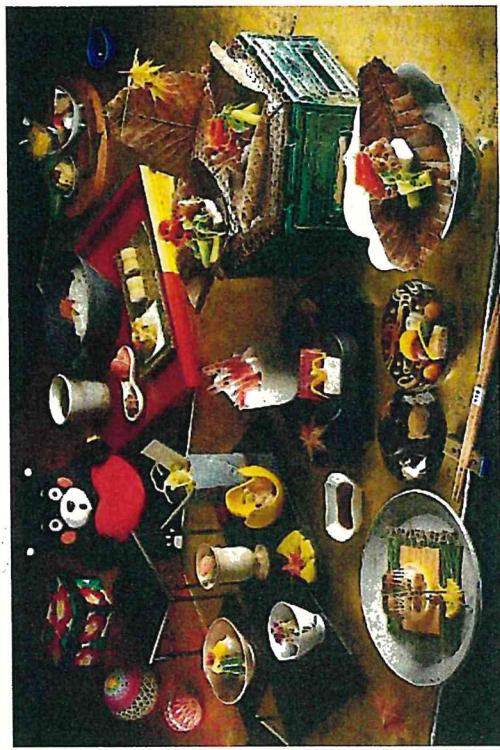
2 異業種間連携・販路開拓支援事業

☆ 地域産品のブランディング・販路開拓

なだ万レストラン・なだ万厨房への食材の提案・提供

11月、全国のなだ万レストラン・なだ万厨房で開催された「熊本県フェア」にあたって、地域食材の提案・提供を実施。

(レストラン) 3,391食、厨房(弁当) 16,072食
(食材) 久木野の棚田米、アオサ、でこぽんジュース



9Fでも
開放中!

水俣・芦北フェア



2.1 mon ~ 14 sun



JR博多シティ「くうてん」への食材の提案・提供

JR博多駅ビルのレストラン街「くうてん」において、
2月1日～14日の2週間、「水俣・芦北フェア」を実施。
15店舗で、水俣・芦北地域の食材(8品目)を使った16の
メニューを考案・提供。(271食)

(食材)
あしきた牛、モンヴェールポーク、足赤えび、でこぽん、
パイントみかん、みなまた和紅茶、亀萬酒造、みずたまご

2 異業種間連携・販路開拓支援事業

☆ 地域産品のブランディング・販路開拓

雑誌等での地域産品の情報発信

九州に存在する食・観光・環境などの『資源』を積極的に取り上げて発行している雑誌「月刊 九州王国」に特集記事を掲載するなど、地域産品の情報発信を実施。



日本最南端の
日本酒蔵を訪ねて
佐伯酒造

水俣・芦北地域にある唯一の日本酒蔵「筑萬酒造」。地元に贈られる贈答を贈るのは新規社長・竹田剛典さんだ。この地に根差す名前のものづくりを聞いてみよう。



小さな身にギュッと旨味が詰まった
『つなぎの牛丼』



九州
王国

Kyushu Kingdom

音り、味れり日本
『みなまた和紅茶』



夫婦漁師が名物「うたせ船」で獲る
『足赤えび』



「足赤えび」はお手頃な料金で、さくらんぼやさわらなど、地元の魚介類を獲る夫婦漁師の「うたせ船」で獲る新鮮な魚介類です。



南国アーティストが育む「和紅茶」
『水俣アボカド』



美味さの切れ味は抜群!
『田浦銀太刀』



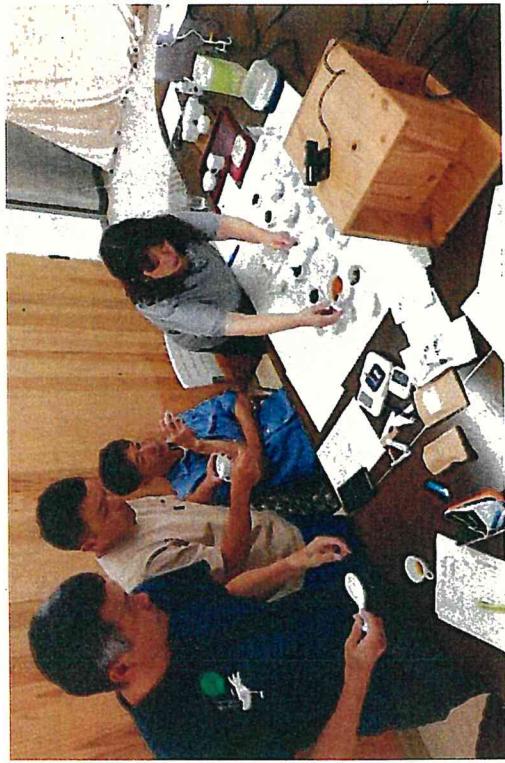
やさしい香りと爽やかなさわやかな
甘さが特徴の「田浦銀太刀」。地
元の田浦地区で育つ田浦銀太刀は、
その甘さと酸味のバランスが絶妙で、
田浦銀太刀の名前通り、田浦の田舎者
が育てた田浦銀太刀の名前です。

2 異業種間連携・販路開拓支援事業

☆和紅茶ブランディング

みなまた和紅茶ブランディング

- 紅茶関連の講師による製造実習及び拝見
6月30日～7月1日 製造実習
- 9月27日 オンラインによる拝見
(各商品の特長の把握、その特長に合わせた淹れ方の研究)
- 茶葉の香気分析を活用した商品シートの作成
- 紅茶に関する資格取得
- ティーソムリエ（TEA ACADEMY JAPAN）
- 山陽新幹線内で「みなまた和紅茶」販売中



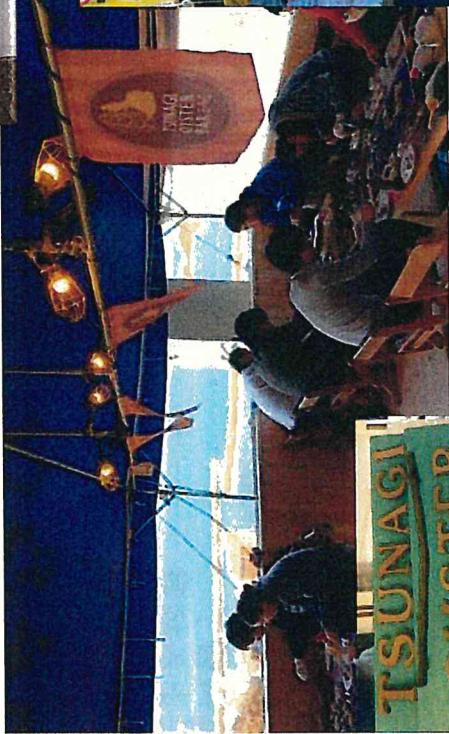
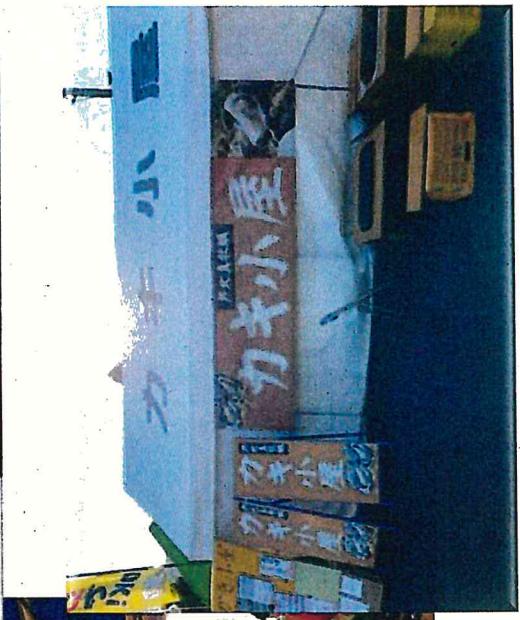
3 水産物ブランド化支援事業

☆ マガキ養殖・販路拡大

マガキ養殖・販路拡大

当地域の海産物等のブランディングの一環として、マガキの特産化を図ることを目的に、マガキの養殖販路拡大を実施。(H24年度(2012年度)~)

- マガキ稚貝購入、貝毒検査、カキ小屋整備
- カキ小屋広告・宣伝、販路拡大



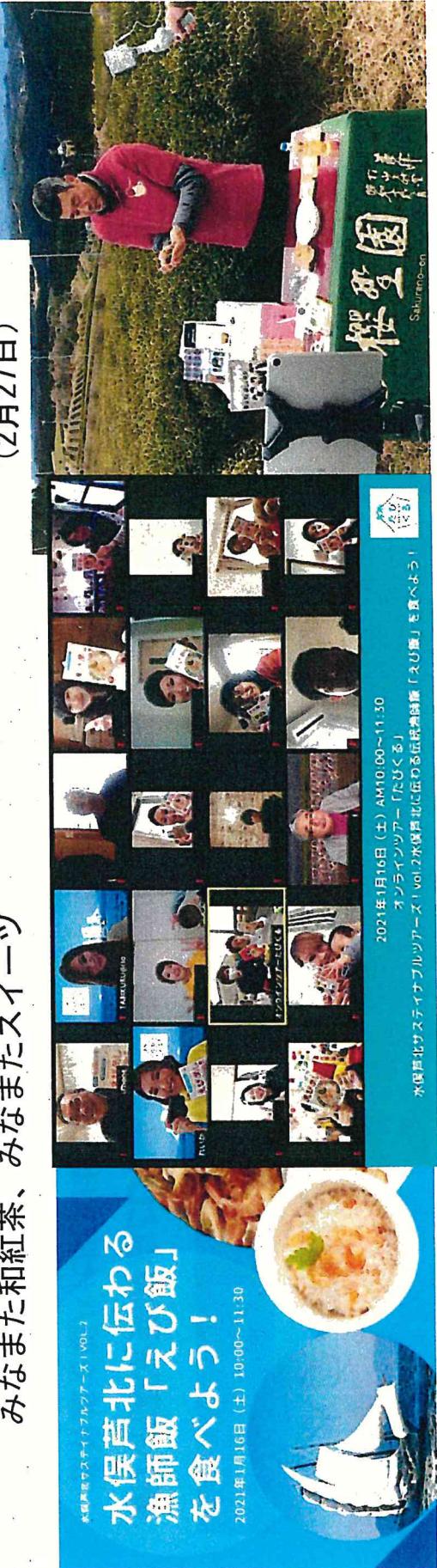
4 水俣・芦北観光応援事業

☆オンラインツアーアイ

オンラインツアーアの実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、不要・不急の外出制限が求められる中、オンラインツアーアに注目が集まつた。実際のツアーアでは訪問者が困難な樹園地などでの収穫体験や加工体験をオンラインで配信・体験してもらい、将来的な観光客の獲得につなげることを目的に実施。

- 伝統製法に拘つた無農薬黒糖作り＆四天王紅茶ブレンドティ体験！（12月12日）
　　ばらん家黒糖、みなまた和紅茶
- 水俣芦北に伝わる漁師飯「えびめし」を食べよう！（1月16日）
　　うたせ漁、磯見海産「えびめし」、えび庵
- 贊沢な茶烟の中でTeaTerrace!～みんなた和紅茶四天王直伝の茶揉み体験！～
　　みなまた和紅茶、みなまたスイーツ
　　（2月27日）



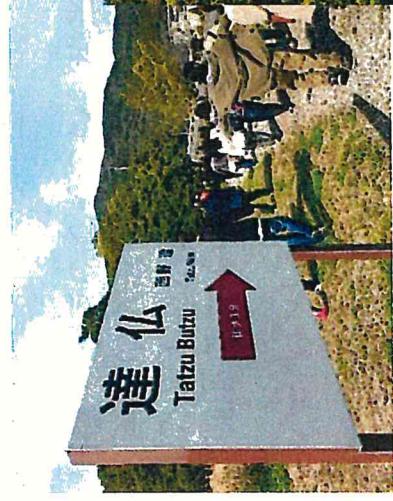
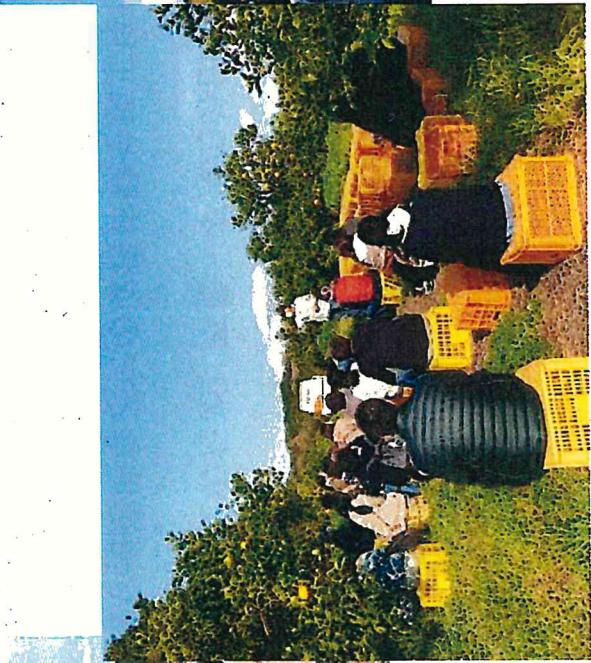
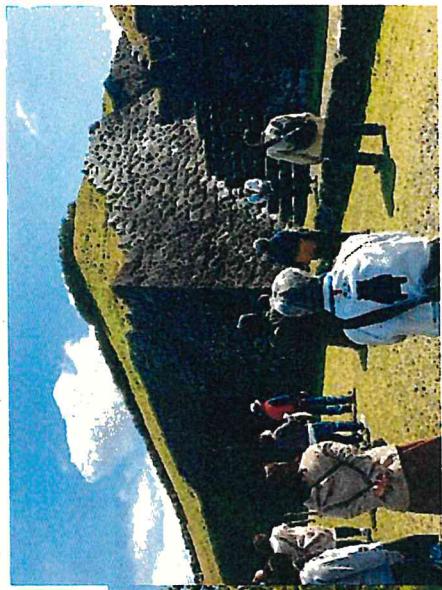
4 水俣・芦北観光応援社事業

☆新幹線で来訪する観光客をターゲットとした旅行商品化

新八代駅を発着点として水俣・芦北地域の生産者等を巡るバスツアー

新幹線で新八代駅又は新水俣駅まで来訪する観光客をターゲットに、当地域のバス事業者を活用し、今まであまりスポットの当たらなかった当地域の生産者と文化・歴史をつなげ、当地域が通過点ではなく、当地域内をゆっくり巡る新たな旅行商品化に向け、モニターツアーを実施。

OLOVE FM DJ Sakikoと行く！1泊2日スペシャルツアーリンク（3月13～14日）
OCROSS FM 鶴田弥生と行く！熊本水俣・芦北日帰りバスツアー（3月27日）



4 水俣・芦北観光応援社事業

☆地域情報誌を活用した情報発信

ていぼう部・芦北エリア 水俣

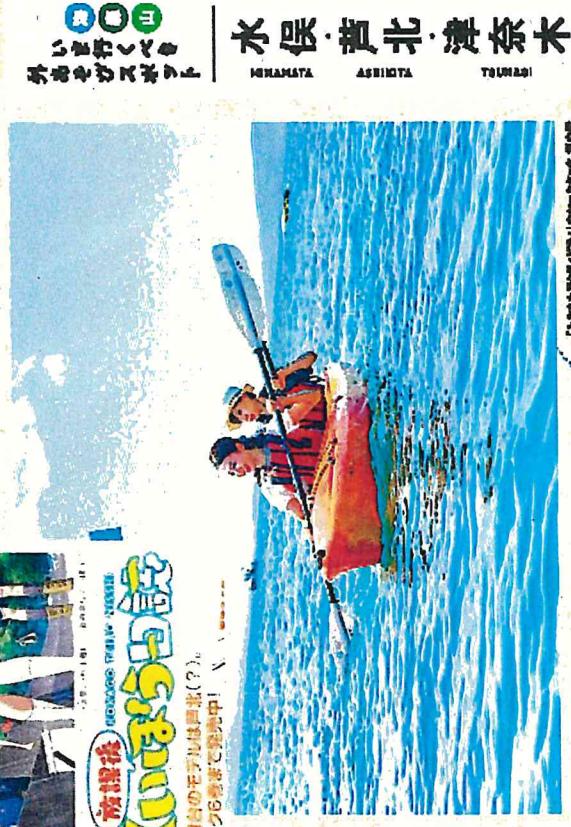
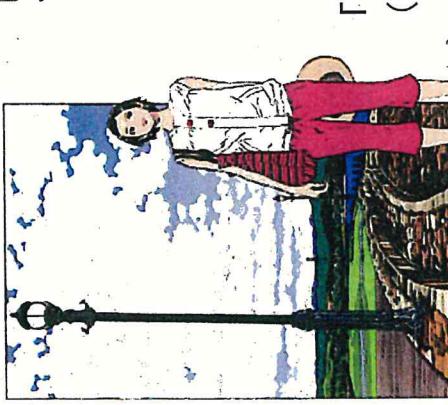
水俣・芦北エリアの3つのまち、芦北町、津奈木町、水俣町は、令和2年7月豪雨で甚大な被害を受けました。が、徐々に創り日が進んでいます。体力が回り切れない時や～1時間30分ほどで行ける向エリアにこの火、足を運んでみませんか。芦北町が作品舞台のモデルといわれれるTVアニメ「ぼくはうとうじやん」(コトコト)が、3市町のおすすめスポットやグルメ、お土産などを紹介します。

芦北町 ファミリーレジャーにこぴったいた施設が充実!

芦北町

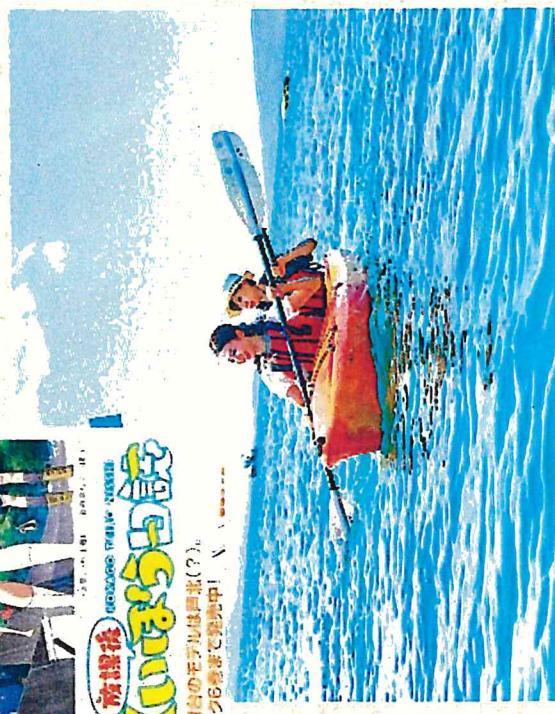


江口寿史さんが描いた水俣



くまにちはばいす (10月9日号)

「江口寿史さんが描いた水俣」
(水俣市発行に協力)



くまにちはばいす

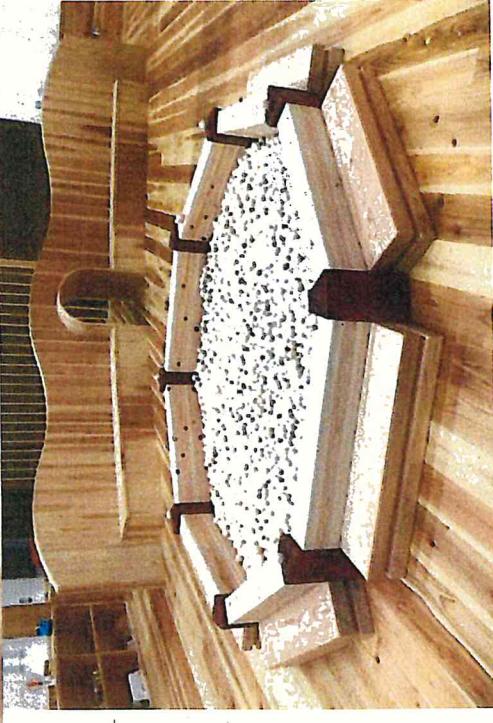
くまもとの外遊び

5 地元林産材の高付加価値化

☆ 地元林産材の高付加価値化

「水俣・芦北地域木材輸出等促進協議会（通称：木魅会）」を核とした地元林産材の活用推進

地元林産材の高付加価値化及びPRに向けて、
芦北町総合コミュニティセンターの木のおもちゃや広場
の開設にあたり、試作品を製作。
併せて、今後の新たな林産材の活用PRに向けて、
木のおもちゃやカタログを作成。



木製玩具でできるおもちゃ
おもちゃ箱（W300×H200×D150）
形の角を丸め加工して、床面に4段階で傾けたモ
チーフを組み込んだビックリボックス。床
を跳ね上げることで、中身が飛び出る仕組み。
完成後は、組み立て式で組み立てる構造。
W300×D200×H150

木製オブジェ（W300×H200×D150）
モチーフを組み込んだビックリボックス。
モチーフを組み立て式で組み立てる構造。
W300×D200×H150

木製オブジェ（W300×H200×D150）
モチーフを組み立て式で組み立てる構造。
W300×D200×H150

6 人材育成事業

☆高校生の就職支援

高校生の就職支援

水俣高校、芦北高校の就職促進支援として、
就職模擬面接会、地元企業見学会を実施。

- 就職模擬面接会（水俣高校3年生：68名）（9月24～29日）
- 地元企業見学会（水俣高校2年生：47名）（12月21日）
河村電器（株）水俣工場、芦北町災害現場、
芦北サテライトオフィス計石
- しごと発見塾（水俣高校、芦北高校、芦北支援学校）（3月）
パンフレットを作成、配布
(地元企業等56事業所掲載)



6 人材育成事業

☆ガストロノーマネジメントの推進

・立命館大学食マネジメント学部 ・龍谷大学農学部

環境価値の高い商品を生み出す当地域の事業者に対して、
食関連産業に関するマネジメントを学ぶ県外大学からの
フィールドワークやインターンシップの誘致を行い、
事業者が抱える各種の解決を図るとともに、若年層への
情報発信を行った。

○大学への地元生産者等のオンライン講義
(立命館大学食マネジメント学部、3回 (6月12日、3月1日))

○関西圏における地域産品の販売体験



7 被災地域産業再興支援事業

☆生産者・加工業者支援

新たな商品・販売方法の開発

生産・製造の再開にあたっての新たな商品・パッケージ開発
の取組みを後押し。（4件）

- しらす、えびを使ったオイル漬け商品（芦北町）
- 新しめの柑橘ピール（芦北町）
- みんなた和紅茶試飲サンプル用ティーバッグ（芦北町）
- ばらん家のおやつシリーズ（芦北町）

しらす、えびを使った オイル漬け商品



新しい味の柑橘ピール



みんなた和紅茶試飲サンプル 用ティーバッグ



ばらん家の おやつシリーズ



7 被災地域産業再興支援事業

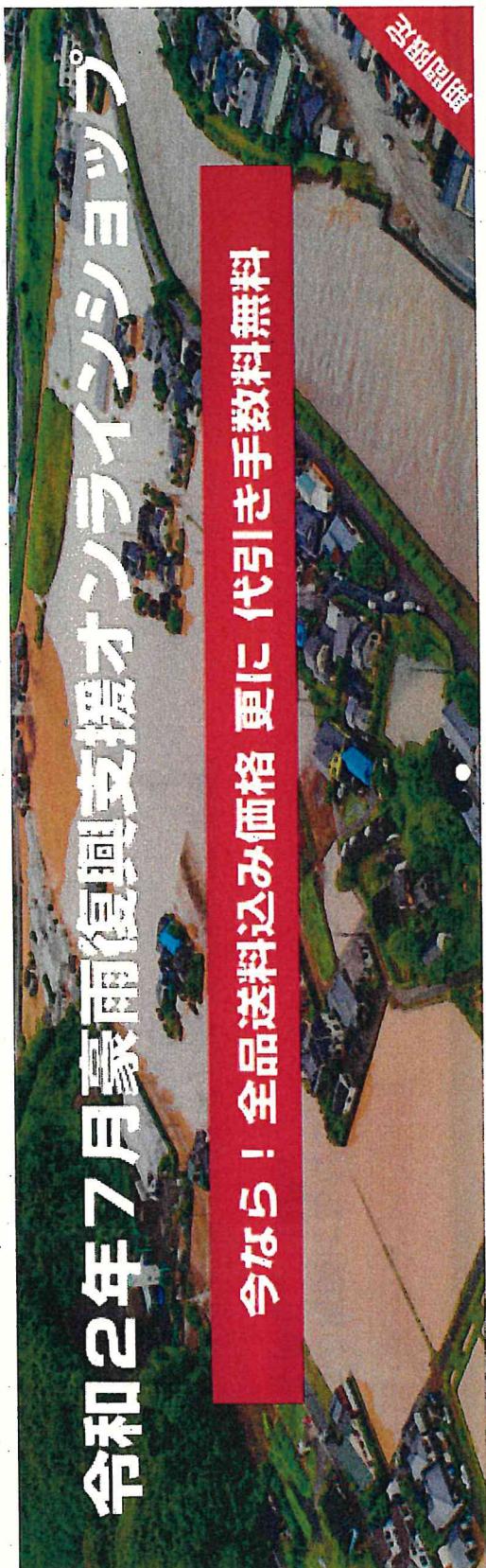
☆ 生産者・加工業者支援

ECサイトを活用した地域産品の販路拡大



「あつと!アシキタ 復興オンラインショップ」を開設し、
送料・代引き手数料を負担することで、地域産品を全国各地へ
販売。

CATEGORY ABOUT CONTACT



お知らせ

JR北信濃駅前商店街オンラインショップ

JR北信濃駅の駅舎横、JR北信濃駅前商店街で運営するオンラインショップを立ち上げ、売上の一部を震災復興支援として寄付させていただきます。お盆期間も販売しております。

7 被災地域産業再興支援事業

☆ 生産者・加工業者支援

熊本都市圏での地域産品の販売促進

熊本都市圏において、水俣・芦北フェアを開催し、地域産品の販売を促進。

○サクラマチクマモト（11月～1月）

「マルシェ in くまモンビレッジ」
○道の駅すいかの里植木（2月27～28日）
○「水俣・芦北フェア」

 水俣
MIZUNAMATA

まつもと ひろかわ

これたての海の幸

△△△

△△△



ボケット
パークにて
開催中

2021年 1月31日まで

水俣 芦北 津奈木 地域店舗物産展 みんなであしたへつなげよう! マルシェ in くまモンビレッジ KUMAMON VILLAGE

水俣、芦北、津奈木での商品を並めにマルシェを開催中!

こだわり商品を紹介!

- ほら 白湯麺
- 和菓子（ハルモニコロ）
- ブリーフ
- えびのしらし
- えびのめしの郷
- フルーツソース
- ジュース

くまモンビレッジ KUMAMON VILLAGE
〒822-0022 熊本県宇土市大字有明10番
TEL. 090-3200-5449 FAX 090-3200-1160 E-mail
kumamon.village@nifty.com
●お問い合わせ
●地図
●会員登録



7 被災地域産業再興支援事業

☆ 物産館・道の駅支援

水俣・芦北地域の復興に向けた情報発信

リビング開本

<9> 2020年10月3日 土曜日

当地域のお出かけ意識の回復に向けて、
熊本都市圏、八代・宇城地域の情報誌へ
特産品情報、物産館・道の駅情報を発信。

- リビング熊本 (10月6日号)
- リビング熊本 (11月14日号)
- うきうきふれす (12月号)
- やつしろふれす (12月号)
- くまにちすぱいす (12月11日号)
- リビング熊本 (新春号)
- うきうきふれす (新春号)
- やつしろふれす (新春号)
- くまにちすぱいす (1月29日号)
- リビング熊本 (2月20日号)
- くまにちすぱいす (3月5日号)

「芦北リアの道の駅」

- 「地域産品送料無料キャンペーン」
- 「地域産品送料無料キャンペーン」
- 「地域産品送料無料キャンペーン」

- 「力キ小屋オープン」
- 「力キ小屋オープン」
- 「力キ小屋、スタンプラリー、フォトコンテスト」
- 「力キ小屋、スタンプラリー、フォトコンテスト(第2弾)」
- 「地域産品送料無料キャンペーン(第2弾)」
- 「地域産品送料無料キャンペーン(第2弾)、水俣・芦北フェア」

7 被災地域産業再興支援事業

☆ 物産館・道の駅支援

物産館を活用した地域産品送料無料キャンペーン

地域の特産品が出揃う年末年にかけて、
地域の物産館・道の駅で地域産品送料無料キャンペーン
を実施。
地域産品の消費拡大、生産者等の収入確保、物産館・
道の駅の収入増に寄与。

第1弾：11月14日～12月14日

第2弾：1月23日～2月23日

物産館・道の駅（5施設）で実施

道の駅みなまた観光物産館まつぼくくり（水俣市）

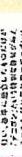
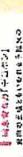
道の駅芦北でこぽん（芦北町）

道の駅たのうら肥後うらら（芦北町）

道の駅大野百貨店（津奈木町）

つなぎ百貨堂（津奈木町）

あしきた・みんなまた地域産品 送料無料キャンペーン



7 被災地域産業再興支援事業

☆飲食店支援

「芦北伽哩街道」参加店舗による新商品開発

「芦北伽哩街道」参加店舗の新たな収入確保を図るために、6店舗の力レーをして商品化。



芦北伽哩街道

ティーアウト冷凍ミール

【販売店】アシマタ、カツカレーランド、カツカレーランド、カツカレーランド、カツカレーランド、カツカレーランド



味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ



味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ



味噌カツカレーライフ

味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ



味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ
味噌カツカレーライフ



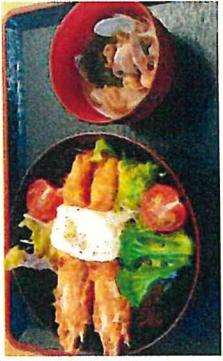
主催：芦北伽哩街道行動委員会 販賣店は「クリアアンドモロコシ」まで。電話番号：0936-42-2219。協力：株式会社

7 被災地域産業再興支援事業

☆飲食店支援

「放課後ついばう日誌」に関連した新メニュー開発

芦北町が物語の舞台と言われている漫画・アニメ「放課後ついばう日誌」に登場するメニューや地域の特産である地魚を使つたメニューを「放課後ついばう日誌コラボメニュー」として、19店舗でメニュー開発。順次、23品目を提供開始。



さるかに合掌亭
足元南蛮丼(貝汁セット)



華ひろ
太刀魚の天ぷら



えび庵
赤エイのからあげ



さるかに合掌亭
足元南蛮丼(貝汁セット)



いっぽう日誌
アジの唐揚げ
(4.50円)



いっぽう日誌
アジの唐揚げ
(4.50円)



いっぽう日誌
アジの唐揚げ
(4.50円)



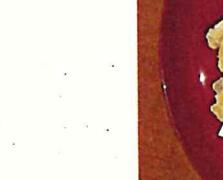
いっぽう日誌
アジの唐揚げ
(4.50円)



いっぽう日誌
アジの唐揚げ
(4.50円)



いっぽう日誌
アジの唐揚げ
(4.50円)



いっぽう日誌
アジの唐揚げ
(4.50円)



いっぽう日誌
アジの唐揚げ
(4.50円)



いっぽう日誌
アジの唐揚げ
(4.50円)



いっぽう日誌
アジの唐揚げ
(4.50円)

コラボメニュー提供店舗

ティラミス
提供店舗は、これからぞくぞく慣れていく予定です。お楽しみに!
販売時間は定めなく随時販売されていますので、ご来店前にご確認ください。

A マリーンスポットM

芦北町鶴木山1207-2
TEL 080-3967-5535
●営業時間／10:00～15:00
●定休日／不定休
テイクアウトのみ

B ピストロ ハバナ

芦北町芦北2053 ベイサイド芦北内
TEL 0966-82-3399
●営業時間／11:30～14:30(OS14:00)
●定休日／毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
17:00～22:00(OS21:00)

C イタリアン料理 コラッソ

芦北町芦北2392-15
TEL 0966-82-2919
●営業時間／12:00～14:00
18:00～21:00
●定休日／毎週火曜日

D 味宮家

芦北町花園1659-6
TEL 0966-82-3967
●営業時間／11:30～14:00
17:00～22:00
●定休日／毎週月曜日

E うめのやれすとらん

芦北町白岩1171-1
TEL 0966-82-5126
●営業時間／11:00～14:00
17:00～22:00(OS21:00)
●定休日／毎週水曜日
芦北牛赤工ビレッジロール
(850円)

F 味乃なじみ

芦北町佐野372-6
TEL 0966-82-2160
●営業時間／12:00～14:00(OS13:30)
18:00～22:00(OS21:30)
●定休日／毎週日曜日
アジの清蒸
(75円)

7 被災地域産業再興支援事業

☆旅館業支援

移動販売等による地域食材の特產品化

宿泊客のコース料理の一つとして提供していた「太刀魚の竹巻」を「不知火太刀かぐや巻」というブランドで商品化。芦北力キ小屋、道の駅等でテスト販売。併せて、通信販売向け商品を開発中。



報告第2号

水俣・芦北地域雇用創造協議会

これまでの活動成果

水俣・芦北地域雇用創造協議会 これまでの活動成果

第五次水俣・芦北地域振興計画

第六次水俣・芦北地域振興計画

1 環境配慮型農産物実証栽培
(1) 農建連携による農業参入(アボカドの実証栽培)

2 水産物ブランド化
(1) マガキの試験養殖・力ギ小屋運営
(2) 「水俣漁師市」開催

3 和紅茶ブランディング
(1) 展示商談会・物産展

4 地域産品を活用した商品開発・販売促進
(1) 地域産品を活用した商品開発
(2) 国内外の展示商談会出展

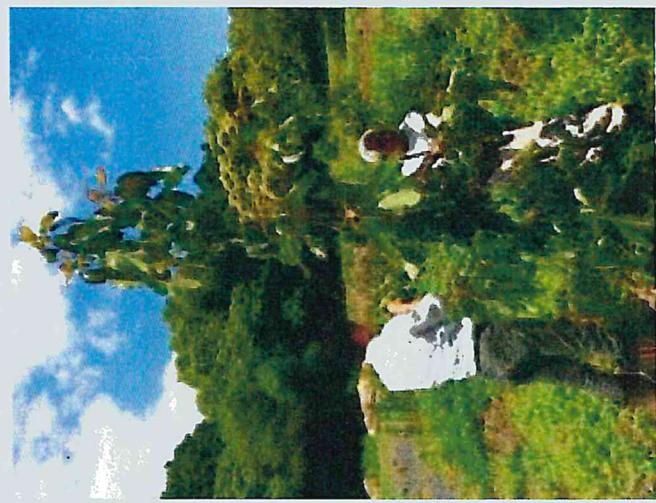
5 着地型観光の新たな旅行商品化
(1) 体験型旅行商品の造成
(学習塾向けの体験学習プラン)

- | | |
|--|---|
| 1 環境配慮型農産物実証栽培
(1) アボカド初出荷 | 1 環境配慮型農産物実証栽培
(1) アボカドの実証栽培 |
| 2 水産物ブランド化
(1) マガキの試験養殖・力ギ小屋運営
(2) 芦北うたせ直売食堂「えび庵」開業 | 2 水産物ブランド化
(1) マガキの試験養殖・力ギ小屋運営
(2) 芦北うたせ直売食堂「えび庵」開業 |
| 3 和紅茶ブランディング
(1) 展示商談会・物産展 | 3 和紅茶ブランディング
(1) 展示商談会・物産展出展
(2) 全国地紅茶サミット、九州和紅茶サミット開催 |
| 4 地域産品を活用した商品開発・販売促進
(1) 地域産品を活用した商品開発
(2) 国内外の展示商談会出展 | 4 地域産品を活用した商品開発・販売促進
(1) 地域産品を活用した商品開発
(2) 大手ECサイトを活用した販路拡大 |
| 5 着地型観光の新たな旅行商品化
(1) 体験型旅行商品の造成
(学習塾向けの体験学習プラン) | 5 着地型観光の新たな旅行商品化
(1) 観光うたせ船定時便運航
(2) インバウンド誘客 |
| 6 地元林産材の活用推進
(1) 「和室」としての林産材の輸出
(2) 地元林産材の高付加価値化 | 6 地元林産材の活用推進
(1) 「和室」としての林産材の輸出
(2) 地元林産材の高付加価値化 |

1 環境配慮型農産物実証栽培

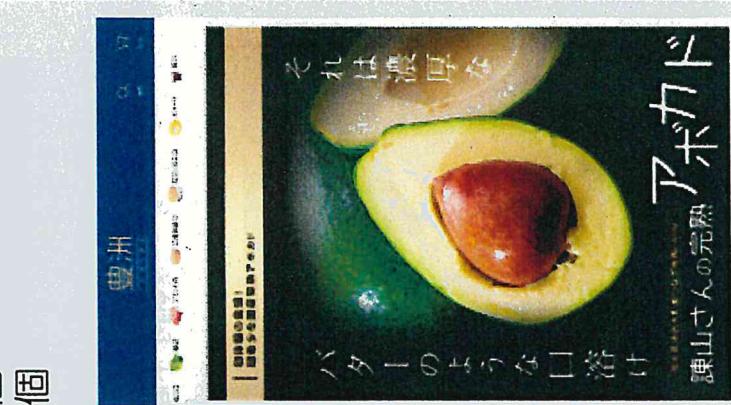
第五次水俣・芦北地域振興計画

- (1) 農建連携による農業参入（アボカドの実証栽培）
・専門家による栽培指導



第六次水俣・芦北地域振興計画

- (1) アボカド初出荷
・津奈木産（R元年度）160個
水俣産（R2年度）130個
・大手ECサイトでの販売



- ・津奈木町において「熱帯果樹振興協議会」設立
- ・産地化・ブランド化への動きへ

2 水産物ブランド化

第五次水俣・芦北地域振興計画

- (1) マガキの試験養殖・力ギリ小屋運営
・宮城県から稚貝購入・試験養殖
・漁業者が運営するカキ小屋開設

(水俣市、芦北町)



第六次水俣・芦北地域振興計画

- (1) マガキの試験養殖・力ギリ小屋運営
・マガキ試験養殖 (R元年：21トソ)
・カキ小屋運営 (水俣市、芦北町、津奈木町)



- (2) 「水俣漁師市」開催
・休漁日の第2土曜日開催



- (2) 芦北うたせ直売食堂「えび庵」開業
・飲食メニューの開発・ブランディング



3 和紅茶ブランドティング

第五次水俣・芦北地域振興計画

- (1) 展示商談会・物産展
- 和紅茶生産者4者で連携して出展



第六次水俣・芦北地域振興計画

- (1) 展示商談会・物産展
- 「みなまた和紅茶四天王」として出展
 - みなまた和紅茶飲み比べセット販売



- (2) 和紅茶サミット開催
- 全国地和紅茶サミット(H29年水俣市)
 - 九州和紅茶サミット(H30、R元年水俣市)



4 地域産品を活用した商品開発・販売促進

第五次水俣・芦北地域振興計画

(1) 地域産品を活用した商品開発



第六次水俣・芦北地域振興計画

(1) 地域産品を活用した商品開発



(2) 大手ECサイトを活用した販路拡大



5 着地型観光の新たな旅行商品化

第五次水俣・芦北地域振興計画

(1) 「体験」「食」「伝統文化」をキーワードとした
体験型旅行商品の造成
学習塾向けの体験学習プラン
「うたせ漁師体験」など



第六次水俣・芦北地域振興計画

(1) 観光うたせ船定時便運航



熊本県観光予約サイト
くまもと旅

運賃



芦北観光うたせ船(午前便・昼食付)	4,200円	午前便	3月~6月
芦北観光うたせ船(午後便)	5,000円	午後便	3月~6月



YOMI高橋旅遊 | 優遊之旅
www.yomioir.com.tw
077-216-2233
06-222-5318

(2) インバウンド誘客



6 地元林産材の活用推進

第五次水俣・芦北地域振興計画

第六次水俣・芦北地域振興計画

- (1) 「和室」としての林産材の輸出
- ・中国濟南ショッピングモール内日本エリア
入場門制作
 - ・KISS福岡内「KUMAcafe」和室施工



- (2) 地元林産材の高付加価値化
- ・芦北町総合コミュニティセンター
「木のおもちゃ」



議 決 事 項

議案第 1 号

令和 3 年度 (2021 年度) 事業実施計画 (案)

令和 3 年度 (2021 年度) 事業実施計画案について、規約第 17 条の規定により本総会の議決を求める。

令和 3 年 (2021 年) 3 月 29 日

水俣・芦北地域雇用創造協議会

会長 江藤公俊

令和3年度(2021年度)事業実施計画（案）

1 目的

「地域の資源を活用し、環境と共生する持続可能な地域づくり」を基本理念とする第七次水俣・芦北地域振興計画の基本施策1「水俣・芦北地域への『流れ』の拡大」に基づき、これまで取り組んできた産業振興による地域活性化の流れを更に強化するため、地場企業の支援、農林水産業の振興等、当地域の強みやニーズを活かした取組みを推進する。

特に、地域経済や雇用面で重要な役割を担う地場の中小企業、とりわけ小規模企業へ焦点を当て、ニーズに対応した総合的な支援に取り組むこととし、地域一体となつた第一次産業の振興、六次産業化、観光振興等、総合的な産業振興に取り組む。

令和3年度(2021年度)は、引き続き、環境配慮型農業の推進、和紅茶、マガキ、林産材をはじめとする地域産品のブランド力の強化、観光素材の磨き上げを図り、各種展示商談会への出展等により商談機会の創出・販路拡大を行う。

なお、海外展開や観光振興に係る取組みについては、新型コロナウイルス感染状況を見極めながら柔軟に対応する。

2 事業内容

(1) 環境配慮型農業推進事業

農薬や肥料に頼らない環境配慮型の農業を地域全体で実践するため、生産者向け栽培技術講習会を開催するとともに、当地域に点在する狭小農地においても持続可能な環境配慮型農産物の実証栽培と販路開拓を併せて行うことで環境首都にふさわしい食と農の地域ブランドを確立する。

【具体的な取組み】

○環境配慮型農産物実証栽培の推進

- ・アボカド栽培技術専門家による訪問技術指導
- ・アボカドの実証栽培及び苗木生産・販売システムの構築
- ・環境配慮型農業（無肥料、無農薬栽培）実践塾の開催
- ・瀬戸石ダム底泥を活用した新たな環境配慮型農業の検証

○中山間地域における狭小農地営農モデルの確立

- ・狭小農地を活用した営農モデルを確立するための環境配慮型の高付加価値農産物の実証栽培・販路開拓

(2) 異業種間連携・販路開拓支援事業

食や健康の分野において、当地域の優れた地域資源の持つ成分、加工技術、保存技術、地域の伝統文化を活用して、農商工連携・六次産業化による付加価値の高い商品開発を行うとともに、パッケージデザインや販売戦略の検討、新たな販路の開拓を行うなど、新産業の創出を図る。

[具体的な取組み]

○地域産品を活用した新商品開発

- ・地域産品を活用した新商品の開発支援

○展示商談会・都市圏物産展出演

- ・食に関する展示会・商談会への出展
(FABEX、Food Styleなど)
- ・都市圏物産展への出店
(銀座熊本館、新梅田食堂街など)

○地域産品のブランディング・販路開拓

- ・地域産品の大都市圏・海外の販路開拓に向けた商品の磨き上げ・販売支援
- ・駅ビルレストラン街 (JR 博多くうてん) での「水俣・芦北フェア」による販路開拓
- ・地域産品の情報発信・サンプル提供

○和紅茶ブランディング

- ・講師派遣、みなまた和紅茶四天王の紅茶に関する資格取得

(3) 水産物ブランド化支援事業

水産物のブランド化、マガキの養殖・販路拡大を実施し、地域資源の新たな特産化を図る。併せて、活魚、鮮魚及び水産加工品等の販売を強化するため、地域内の加工所、直売所と連携して、水産物のブランド化を推進する。

[具体的な取組み]

○水産資源ブランディング

- ・アドバイザー派遣

○マガキ養殖・販路拡大

- ・マガキ稚貝購入・貝毒検査
- ・カキ小屋 PR 広告・宣伝、販路拡大

○水産物加工所、直売所における加工品等の試作試験

- ・加工所で製造する加工品の試作試験
- ・直売所で提供する飲食メニューの開発

(4) 水俣・芦北観光応援事業

地域資源を生かした着地型旅行商品を充実させるため、素材の発掘、旅行商品化や情報発信を効果的に行うなど、交流人口を最大化させ、産業振興と雇用確保を図る。

[具体的な取組み]

○旅行商品開発

- ・素材の発掘・磨き上げ、商品化
- ・旅行会社への営業活動

○インバウンド誘客

- ・FIT 向け旅行商品の開発
- ・旅行会社等への営業活動

○情報発信

- ・情報誌等への地域観光情報掲載

(5) 地元林産材活用推進事業

林家や製材所等の所得向上を図るため、地元林産材を利用した雑貨等の商品化や地元林産材のPRを行う。

[具体的な取組み]

- 地元林産材の高付加価値化
 - ・地元林産材を活用した商品開発・サンプル制作
- 「和室」の輸出促進
 - ・現地商談、現場視察等
 - ・展示会への出展

(6) 人材育成事業

地域内外の関係者と連携した創意工夫による人材育成、就職支援等による雇用創出を図る。

[具体的な取組み]

- セミナー開催・受講料の一部助成
 - ・求職者向けセミナーの開催
 - ・研修受講料の一部助成（技能後継者・福祉医療関係）
- 高校生の就職支援
 - ・地元企業による企業説明会の実施
 - ・地元企業見学会の実施
 - ・就職模擬面接会の実施
- ガストロノミーマネジメントの推進
 - ・大学等と連携した出前授業の実施、フィールドワーク受入等
- 事務局経費
 - ・会計年度任用職員人件費、事務局運営費

議案第 2 号

令和 3 年度 (2021 年度) 当初予算 (案)

令和 3 年度 (2021 年度) 事業予算案について、規約第 17 条の規定により
本総会の議決を求める。

令和 3 年 (2021 年) 3 月 29 日

水俣・芦北地域雇用創造協議会
会長 江藤公俊

令和3年度(2021年度)水俣・芦北地域雇用創造協議会 当初予算(案)

(単位:千円)

<収入>

経費区分	内 容	R3年度 当初予算(案)	R2年度 当初予算	差 引	<参考> R2現計予算
1 負担金	県	46,950	61,684	△ 14,734	58,684
	水俣市、芦北町、津奈木町		1,500	△ 1,500	1,500
2 助成金	県(くまもと観光地域応援社発展事業)		3,000	△ 3,000	0
	県(被災地域産業再興支援事業費助成金)			0	40,000
3 繰越金		1	1	0	1,752
4 諸収入	預金利子	1	1	0	1
収入計		46,952	66,186	△ 19,234	101,937

<支出>

経費区分	内 容	R3年度 当初予算(案)	R2年度 当初予算	差 引	<参考> R2現計予算
事業費		46,951	66,184	△ 19,233	101,936
1 環境配慮型農業 推進事業	・環境配慮型農産物実証栽培 ・狭小農地営農モデルの確立	8,200	13,400	△ 5,200	10,000
2 異業種間連携・ 販路開拓支援事業	・地域産品を活用した新商品開発 ・展示商談会・都市圏物産展出展 ・地域産品ブランディング・販路開拓 ・和紅茶ブランディング	16,670	16,420	250	21,011
3 水産物ブランド化 支援事業	・水産資源ブランディング ・マガキ養殖・販路拡大 ・加工品等の試作試験	5,400	7,780	△ 2,380	6,000
4 水俣・芦北観光 応援社事業	・旅行商品開発 (素材の商品化、営業活動等) ・インバウンド誘客 ・情報発信	5,250	12,500	△ 7,250	8,783
5 地元林産材活用 推進事業	・地元林産材の高付加価値化 ・「和室」の輸出促進	3,000	6,000	△ 3,000	2,913
6 人材育成事業	・セミナー開催・受講料の一部助成 ・高校生の就職支援 ・ガストロノミーマッチメントの推進 ・事務局経費	8,431	10,084	△ 1,653	12,142
7 被災地域産業再興 支援事業	・生産者・加工業者支援 ・物産館・道の駅支援 ・飲食店支援 ・旅館業支援			0	41,087
予備費		1	2	△ 1	1
支出計		46,952	66,186	△ 19,234	101,937

